



文責 本宮小学校長 佐久間仁

修学旅行II



《子どもたちの作文(抜粋)》

修学旅行の名場面

六年 松崎 圭志

ぼくの修学旅行の名場面は、一日目のフィールドワークでフリー乗車券を買ったときのことです。

修学旅行の前から、班のみんなとフリー乗車券を買うことに決めていました。でも、買うところから分らず、

「最初から終わったか。」

と絶望したかのように言っていました。先生に電話して場所を教えてくださいました。あせっていたからか、よく分かりませんでした。ぼくは、泣きそうになりました。走って探している、ついに、買う場所を見つかることができました。そこは、観光案内所でした。無事券を買うことができましたが、

バスが来るまで、あと五分もないくらいで、間に合うか分からない時間でした。でも、観光案内所にいたおばさんが、近道を教えてくれました。そのおかげで、無事バスに乗ることができました。

あのおきのおばさんに感謝したいです。

「ありがとうございます。」

修学旅行で感動したこと

六年 富塚 絢斗

ぼくが修学旅行で感動したことは五つあります。

一つ目は、飯盛山で白虎隊十九士の墓を見たことです。飯盛山で自刃した二十人の白虎隊のうちの十九人のお墓について説明を聞きながら、お辞儀をしました。そのあとは、白虎隊の踊りを見ました。

二つ目は、お昼に食べたわっぱ飯です。卵とそばなどがご飯の上に乗っていて、すごく美味しかったです。三つ目は、大川荘の部屋とお風呂です。部屋は、外を見わたせる窓がありました。みんなでテレビを見ました。お風呂は、ろ天風呂もありました。ろ天風呂は自然の景色を楽しみながら入りました。サウナもあって、温度は低かったです。みんなでいい汗を流しました。四つ目は、朝ご飯です。バイキング形式で、いろいろ



なおかずや、卵かけご飯などを食べました。五つ目は、フィールドワークです。赤べこを作ったり、起き上がり小法師を作ったりしました。みんな個性的な作品で、すごいなと思いました。

ぼくにとって、修学旅行の全てが感動の二日間でした。



お月見集会



十七日、お月見集会を行いました。集会委員会が中心となり、月見にまつわるインタビューやクイズを楽しみました。月見団子の作り方を、手作り動画で解説するなど、新たな企画にも挑戦しました。

《校長の話》

今年、暦の関係で、十七日が中秋の名月、十八日が満月で一日ずれています。今度名月と満月が同じ日になるのは、六年後の二〇三〇年だそうです。楽しみです。中秋の名月をめぐる習慣は、平安時代に中国から伝わったといわれています。今年の大河ドラマで主人公の紫式部や藤原道長が月を眺めるシーンが出てきますが、今のようないくつかの時代、薄暗い中で過ごしていた古代の人にとって、満月はどれほど明るいと感じたのでしょうか。月が暗くなる皆既月食は不吉なものと考えられていたようです。今宵は、昔の人に思いを寄せながら、じっくりと月を眺めてみるのもよいですね。

